

☎問い合わせ先

戦国屈指の知将

小早川隆景

ものがたり ⑨



三原城を築き、現在の三原市の礎を築いた小早川隆景。広報みはら最終ページでは「小早川隆景ものがたり」を連載し、みなさんと一緒に隆景の生涯をたどります。

九州での戦い

小早川隆景が伊予(現在の愛媛県)を治めていた頃、九州地方では、薩摩を拠点とする島津義久が勢力を伸ばし、豊後や肥前へ進出していました。

豊臣秀吉は、これらの国の領主を助けるため、九州に出兵することを決め、天正14(1586)年4月、隆景ら毛利軍に出陣を命じました。

毛利軍は同年10月、小倉城を占領し、筑前に進出。島津氏に付いていた高橋氏の居城・香春山城を攻め落としました。この途中、隆景の兄・吉川元春が小倉城で病死しました。

秀吉自身は天正15(1587)年3月に居城の大坂城を出発し、九州に向かいました。秀吉

軍は肥後、毛利軍は日向から薩摩に入ると、島津軍は力尽き、同年5月に降伏しました。



隆景を高く評価していた秀吉は、この戦いの当初から隆景を筑前に置くことを思い描いていました。これは隆景に九州の諸大名の統制の役割を与えること、もう一つは朝鮮出兵への準備をさせるためでした。

そのような思惑を持っていた秀吉は、この戦いの功績と称し、隆景に筑前・筑後・肥前1郡半という、九州で最も重要な地域を

与え、在国を命じています。

天正19(1591)年3月だけで行われた調査によると、これらの領土は377,300石にもなるといわれています。

名島城

隆景は、最初、筑前での本拠を立花城という山城に置きました。しかし、あまりにも山が険しい上に水が乏しく、交通の便も悪かったため、天正16(1588)年、名島に移り、新しく城を築きました。

現在は取り壊されて、その姿を見ることはできませんが、名島城の大きさは東西840メートル、南北は280〜400メートル。その中に本丸や二の丸などが備わっていました。ま



▲名島城跡

た、隆景が永祿10(1567)年に築いた三原城と同じように海に囲まれていました。

隆景は筑前にいる間、管崎宮の楼門の建立、香椎宮の社殿や世界遺産に登録されている宗像大社の再建など、多くの事業を行いました。

中でも天正19(1591)年に再建した太宰府天満宮の本殿は、桃山時代の華麗で豪放な建築様式の特徴がよく出ており、国の重要文化財にも指定されています。



▲太宰府天満宮

参考文献

『三原市史 第二巻 通史編』

昭和52年

三原市役所 編集兼発行

☎文化課

0848-649234

あ・と・が・き



決定。映画「やつさだるマン」の先行上映会が来年2月12日にポポロで行われます。やつさだるマンを盛り上げようと、市職員が奮闘する物語。オール三原ロケで、市民エキストラ延べ約400人が参加しました▼やつさだるマンによると「この映画は三原映画をつくる会の皆さんなど、多くの人の力で三原の魅力があふれ出す作品に仕上がっております」とのことです。この映画が大ヒットするように、まずは先行上映会に来てくださいね▼広報みはらやフェイスブックでも映画の情報を掲載していきますので楽しみにしてください(Ｈ)

税金などの納期 (普通徴収)

- 固定資産税・都市計画税(第3期)
 - 国民健康保険税(第6期)
 - 介護保険料(第6期)
 - 後期高齢者医療保険料(第6期)
- 納期限 12月25日(月)まで
夜間収納窓口(19時まで)
木曜日

航空機の騒音測定結果(10月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=48.9
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.7

三原市の人口(10月31日現在)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	43,894 世帯 (-290)
人口	95,843 人 (-1,311)
男	45,902 人 (-655)
女	49,941 人 (-656)

人口移動の詳細については

広島県 人口移動 月報 で 検索